

各種補助金・研究助成一覧(平成29年度)

募集予定月	事業名	事業内容、応募資格、目標等	募集時期	補助率	金額	事業期間	事業実施主体・問い合わせ先
6月～7月	「理想の追求」プログラム	キャンパ財団の「理想の追求プログラム」では「人類の英知を深め、社会の理想を追求するような自然科学技術を核とした総合的な研究プロジェクト」に対して助成を行います。このプログラムでは「Frontier, Welfare, Sustainability」の視点からキャンパ財団が毎年研究課題を提示します。研究課題にグローバルな視点から挑戦し、人類に夢を与え、大きな課題を解決するような、分野融合的研究プロジェクトを募集します。2016年度も引き続き「食に関する研究」を募集します。	H29/6/1～7/14	—	助成申込額は3,000万円を上限として、全体で数件程度を予定	原則3年間	キャンパ財団事務局 TEL:03-3757-6573 FAX:03-3757-0674
6月	「産業基盤の創生」プログラム	キャンパ財団の「産業基盤の創生プログラム」では「新しい科学的知識の獲得、新しい技術の創出によって、イノベーションを惹起し、社会・経済の発展に寄与するような研究」に対して助成を行います。日本の強い産業を更に強化する、あるいは新たな産業を興すことによって経済発展を促すような科学技術分野にあって、独創的、先駆的、萌芽的な研究を対象とします。分野としては、将来社会において重要になることが想定されるICT・エレクトロニクス・ロボティクス、健康・医療・生命科学、バイオテクノロジー、環境・資源・エネルギー、材料・デバイス・プロセス、サービスサイエンスです。また、社会的に複雑で難しい課題を解決するために、分野間の知的な触発や融合を図る挑戦的な新興・融合テーマなども対象として含めます。	H29/6/1～6/30	—	1件あたりの助成申込額は1,500万円を上限として、全体で10数件程度	1年間あるいは2年間のいずれか	キャンパ財団事務局 TEL:03-3757-6573 FAX:03-3757-0674
3月～4月	長寿科学研究者支援事業	長寿科学研究に携わる研究者の研究活動を幅広く支援することにより、研究者の育成と長寿科学の振興を図るために、研究課題の募集を行います。募集研究課題は予防・診断・治療法の開発分野、看護・介護・栄養分野など長寿科学に貢献できるすべての分野を研究課題とします。	H29/3/13～4/10	—	1件につき最大600万円	1年から3年間	長寿科学振興財団 事業推進課 TEL:0562-84-5411 FAX:0562-84-5414 E-mail:research@tvoivu.or.jp
3月～4月	第36回リバネス研究費 池田理化学研究所奨励賞	ESC、iPSC、MSC等の幹細胞やその他の細胞を用いたヒト臨床を伴わない研究。再生医療の基盤を構築する上で必要な基礎研究(分子細胞生物学、細胞生物学、発生工学、組織工学、材料工学等)、再生医療の実現に必要な細胞製造・加工プロセスに関わる基盤技術研究、創薬技術への利用や病態解析等の応用研究の他、ここにはない新規のアイデアも対象とします。	～ H29/4/30	—	50万円		株式会社リバネス E-MAIL: incu-be@lne.st
3月～4月	第36回リバネス研究費 海底探査推進特別賞	全海底地形図の作成に資する全ての研究	～ H29/4/30	—	50万円		株式会社リバネス E-MAIL: incu-be@lne.st
3月～4月	第36回リバネス研究費 天然物由来素材研究推進賞	植物、微生物、海洋生物など天然物から抽出した物質の生理活性を明らかにする研究	～ H29/4/30	—	50万円		株式会社リバネス E-MAIL: incu-be@lne.st
3月～5月	第36回リバネス研究費 L-RAD賞	自然科学、社会科学、人文科学の研究、開発、調査全般	～ H29/5/31	—	50万円		株式会社リバネス E-MAIL: incu-be@lne.st
3月～4月	第36回リバネス研究費 クラレ賞	3次元細胞培養プレートElplasia®(エルプラシア)を用いた研究テーマ Elplasia®は、1ウェル内に102μmオーダーのマイクロ空間を有する3次元細胞培養プレートです。今回の研究費では、Elplasia®を用いた研究テーマを募集いたします。	～ H29/4/30	—	50万円および3次元細胞培養プレートElplasia®の無償提供		株式会社リバネス E-MAIL: incu-be@lne.st
3月～5月	四方記念地球環境保全研究助成基金	下記のいずれかをテーマとした、海外を場とした現地での調査をとまな独立した研究を対象とします。(1)熱帯雨林の減少、砂漠化の進行等の地球規模の自然環境問題に関する調査・研究(2)絶滅のおそれのある生物等の生態及びその保護・回復に関する調査・研究(3)人間の生活と両立する自然環境、野生生物等の管理手法に関する調査・研究	～ H29/5/8	—	50万円まで	おおむね2年	一般財団法人 自然環境研究センター 内 公益信託 四方記念地球環境保全研究助成基金 事務局 TEL:03-6659-6310 FAX:03-6659-6320
3月～4月	「次世代火力発電等技術開発/次世代技術の早期実用化に向けた信頼性向上技術開発」に係る公募について	本事業では、石炭火力発電所から排出されるCO2を大幅に削減させるべく、平成28年6月に官民協議会で策定した「次世代火力発電に係る技術ロードマップ」で示された次世代火力発電技術のうち、700℃以上の主蒸気温度を適用した先進超々臨界圧火力発電(A-USC※1)の実現を目指し、Ni基材料の信頼性向上技術開発を実施します。※1 先進超々臨界圧火力発電(Advanced Ultra Super Critical)	H29/3/7～4/7	助成対象費用の2分の1以内	1件当たり年間の助成金の規模は160百万円程度	平成29年度	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 環境部 クリーンコールグループ 担当者:足立、阿部(一)、在間 FAX:044-520-5253 E-MAIL: cct.projects@ml.nedo.go.jp
3月～4月	「高効率な資源循環システムを構築するためのリサイクル技術の研究開発事業」に係る公募について	我が国の都市鉱山を有効に活用するため、資源価値の高い小型家電等の廃製品を対象に、現状リサイクルが行われていない元素群(鉄、アルミ、銅、金、銀など)のみならずレアメタル等も含めた多様な金属について、低コストで高効率な再生金属資源の生産(金属のリサイクル)を可能とする革新的な技術を開発するとともに、バリューチェーンを形成する動静脈連携を強化する情報、制度、社会システムの構築を目指す。	H29/3/10～4/10	委託	事業規模380百万円程度	平成29年度	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 環境部 3Rグループ 担当者:服部(安)、半沢、阿部(正) FAX:044-520-5253 E-MAIL: 3r-pi@ml.nedo.go.jp
3月～5月	「太陽光発電システム効率向上・維持管理技術開発プロジェクト」に係る公募について	今回の公募は下記(Ⅰ)①、(Ⅰ)②及び(Ⅱ)を対象といたします。(Ⅰ)「太陽光発電システム効率向上技術の開発」パワーコンディショナや架台等の周辺機器の高機能化や、追尾・反射・冷却等の機能付加により発電量を増加させる技術の開発や、基礎・架台の施工や太陽電池モジュール取付技術の開発によってBOSコストを低減させる等の技術を開発し、発電コストを低減する。(Ⅱ)「太陽光発電システム維持管理技術の開発」発電機器・設備の健全性の自動診断や故障の回避、自動修復など、発電システムの劣化予防や長寿命化、人件費の削減等に寄与する管理システムやメンテナンス技術を開発し、発電コストを低減する。	H29/3/17～5/9	助成対象費用の2分の1	1提案の年額を最大1.5億円(NEDO負担額7,500万円)	平成29年度から平成30年度	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 新エネルギー部 太陽光発電グループ 担当者:西村、森田 E-MAIL: pvgroup@ml.nedo.go.jp
3月～4月	「二酸化炭素原料化基幹化学製品製造プロセス技術開発/二酸化炭素資源化プロセス技術開発」に係る公募について	本プロジェクトでは、高効率の光触媒を用いて太陽エネルギーにより水から水素を製造(ソーラー水素)し、高効率分離膜により水素を分離・精製して、さらにソーラー水素とCO2を原料として高効率合成触媒を用いてプラスチック原料等の基幹化学製品を製造するプロセスを開発しています。今回、市場の変化等にも対応可能な更なるCO2削減プロセスを開発するため、目的のオレフィンC2、C3、C4それぞれの収率を大幅に向上する高効率合成触媒等の開発について公募を行います。	H29/3/21～4/19	委託	平成29年度の事業規模は2億円程度	平成29年度	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 環境部 環境化学グループ 担当者:橋高、服部、山栗、吉澤 FAX:044-520-5253 E-MAIL: green@ml.nedo.go.jp

募集予定月	事業名	事業内容、応募資格、目標等	募集時期	補助率	金額	事業期間	事業実施主体・問い合わせ先
3月～4月	「IoT推進のための横断技術開発プロジェクト」に係る公募について	2030年時点において高度な技術が浸透した社会を実現するために必要となる、低消費電力なデータ収集システム(高速処理、知的処理、小型化、低コスト化等)、データストレージシステム(大量データ・高速処理等)、データ解析システム(人工知能、高速処理、知的処理、エッジ・ミドル・クラウド処理の最適化等)、セキュリティ(データ保護技術、攻撃の検知技術、脆弱性 対処技術等)等について、我が国と世界の状況に鑑み、具体的な用途やシステムを想定し、実用化への道筋をつける、革新的な基盤技術を研究開発します。また、垂直・水平連携等の体制により複数の要素技術(必ずしも全て新規開発とは限らない)を統合するシステム化技術等の研究開発を行います。	H29/3/24 ～4/24	委託	年間 0.5～2 億円程度/件	平成 29 ～ 30	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 FAX:044-520-5253 E-MAIL: cct.projects@ml.nedo.go.jp
3月～4月	平成29年度「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」テーマ設定型事業者連携スキームに係る公募について	平成24年度から実施している「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」は、我が国における省エネルギー型経済社会の構築および産業競争力の強化に寄与することを目的としています。今般、このプログラムに新たにテーマ設定型事業者連携スキームを設け、省エネルギー効果が高い技術開発を対象として助成します。	H29/3/27 ～4/25	助成率2/3以内	5億円/件・年 (NEDO助成費+実施者負担分)	5年以内	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 省エネルギー部「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」事務局 FAX:044-520-5187 E-MAIL: shouene@nedo.go.jp
5月～7月	平成30年度ダノン学術研究助成金	日本国内で食と栄養に関する研究や種々の生活習慣病の予防などを対象とした研究に対して助成を行い、日本国内の健康・栄養関連の研究促進・奨励に努めています。「栄養・食品と健康に関する基礎的、臨床的、または疫学的研究」特に重点をおく研究テーマ:小児および高齢者の栄養、食習慣についての疫学、および乳製品・プロバイオティクスの有用性	H29/5/15 ～7/31		一般研究助成4件以内、総額800万円/年、若手研究助成4件以内、総額400万円/年	原則として1年間(平成30年1月1日～12月31日)	公益財団法人ダノン健康栄養財団 事務局 TEL:03-6890-9490 TEL:03-5724-2901 E-MAIL: josie@danone-institute.or.jp
～7月	平成29年度先端加工機械技術に関する研究助成	先端加工機械技術に関する基礎的ならびに応用的な研究	～ H29/7/31		1件当たり最高70万円、8件予定	平成29年11月	(一財)先端加工機械技術振興協会 研究助成係 TEL:03-3501-6701 FAX:03-3503-9697 E-mail: info@amtdata.or.jp
4月～6月	住友財団 2017年度基礎科学研究助成	この助成は、重要でありながら研究資金が不十分とされている基礎科学研究、とりわけ新しい発想が期待される若手研究者による萌芽的な研究に対する支援を行うものです。理学(数学、物理学、化学、生物学)の各分野及びこれらの複数にまたがる分野の基礎研究で萌芽的なもの(それぞれの分野における工学の基礎となるものを含む。)	H29/4/15 ～6/30		総額 1億5,000万円(1件当たり最大500万円)、90件程度		公益財団法人住友財団 TEL:03-5473-0161 FAX:03-5473-8471 E-MAIL: sumitomo-found@msj.biglobe.ne.jp
4月～6月	住友財団 2017年度環境研究助成	環境問題の解決のためには、多面的アプローチによる分析と様々な対応策の構築が必要と考え、そのためのいろいろな観点(人文科学・社会科学・自然科学)からの研究に対する支援を行うものです。一般研究: 環境に関する研究(分野は問いません。) 課題研究: 2017年度募集課題「地域固有の環境問題の理解および解決のための学際研究または国際共同研究」	H29/4/15 ～6/30		一般研究 8,000万円 1件当たり最大500万円 50件程度 課題研究 2,000万円 1件当たり最大1,000万円 2件程度		公益財団法人住友財団 TEL:03-5473-0161 FAX:03-5473-8471 E-MAIL: sumitomo-found@msj.biglobe.ne.jp
4月～5月	「IoTを活用した新産業モデル創出基盤整備事業」研究開発項目(1)高度なデータ活用を可能とする社会インフラ運営システムの開発」に係る公募について	人口減少・少子高齢化の進展の中で、社会インフラ分野の効率的かつ持続可能な事業運営は大きな社会的課題です。こうした社会インフラ分野に対して、IoT技術を一連の業務プロセスに導入するための標準化をはかり、IoT活用によるインフラ分野の運営効率化を図ることが期待されています。社会インフラのうち特に水道事業を対象とし、広域化・統合化・効率化を目的として、本事業を実施します。なお、事業実施にあたっては、別途NEDOより公募する「IoTを活用した新産業モデル創出基盤整備事業」/水道IoTの社会実装推進に向けた検討」の実施者と密に連携するものとします。	H29/4/4 ～5/10	委託	本公募に関する平成29年度の予算規模は約7.5億円を予定	NEDOが指定する日から平成31年2月28日まで	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 IoT推進部 担当者:工藤、小泉、大宮 FAX:044-520-5212
4月～6月	平成29年度「国際研究開発/コフレ事業/日本-イスラエル研究開発協力事業」に係る公募について	NEDOは、平成26年7月、イスラエル産業技術研究開発センター(MATIMOP)との間で基本協定書(MOU)を締結し、両国の産業技術分野における研究開発を促進することに合意しました。本事業では基本協定書に基づき、両国企業の共同研究開発を支援します。対象となる技術分野は、新エネルギー、省エネルギー、スマートコミュニティ、環境、ロボット、機械システム、電子・情報(AI・IoT含む)、材料・ナノテクノロジー、バイオテクノロジー等で、研究開発要素を含む事業とします。	平成29年 4/7～ 6/15	大企業:1/2助成 中小・ベンチャー企業*:2/3助成	NEDO負担分と事業者負担分を合わせて、平成29年度は2,500万円/件、平成30・31年度は単年度あたり5,000万円以内/件(最長3年度)を原則とします。	平成29年度～平成31年度までの間	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 国際部 コフレ担当 TEL:044-520-5190 FAX:044-520-5193 E-MAIL: international@ml.nedo.go.jp
4月～5月	「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)自動走行システム/大規模実証実験のうち「ダイナミックマップ」に係る公募について	今回の大規模実証実験は、5つの技術領域(ダイナミックマップ、HMI、情報セキュリティ、歩行者事故低減、次世代都市交通)を中心に、自動車メーカー等の参加のもと、公道の実交環境下において技術検証を行っていくものです。また、今後の実用化に向けた技術面、運用面、制度面等での具体的な課題の抽出とともに、海外メーカー等にも参加を呼び掛け、国際連携・協調の推進等も図っていきます。更に、別途、自動走行システムに対する一般の方々の正確な理解促進と社会受容性の醸成等に向けたイベントの開催を予定しています。a. ダイナミックマップの試作・整備及びセンサー機能や更新手法等の確立 b. 地図情報の差分更新・自動化 c. 大規模実証実験の実施・管理	H29/4/12 ～5/12	委託	事業規模(平成29年度)450百万円	平成29年度～平成30年度	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 ロボット/AI部 担当者:坂本、平林、齊藤 TEL:044-520-5241 FAX:044-520-5243
4月～6月	平成29年度予算に係る戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)の公募	この事業は、デザイン開発、精密加工、立体造形等の特定ものづくり基盤技術(12分野)の向上につながる研究開発、その事業化に向けた取組を支援することが目的です。中小企業・小規模事業者が大学・公設試等の研究機関等と連携して行う、製品化につながる可能性の高い研究開発及びその成果の販路開拓への取組を一貫して支援します。この事業の応募対象は、中小ものづくり高度化法(以下「法」という。)第3条に基づき経済産業大臣が定める「特定ものづくり基盤技術高度化指針」に沿って策定され、新たに法第4条の認定を受けた特定研究開発等計画(以下「法認定計画」という。)を基本とした研究開発等の事業になります。	H29/4/14 ～6/8	I. 大学・公設試等(補助率:定額1,500万円を上限) II. 中小企業・小規模事業者等(補助率:3分の2以内)	平成29年度(平成30年3月末まで)に行う研究開発等に要する補助金額の合計が4,500万円以下。	補助事業期間:2年度または3年	中小企業庁 中部経済産業局地域経済部 産業技術課 TEL:052-951-2774
5月～7月	2017年度「コストロジ」研究」公募	コストロジ(化粧品等)の進歩・発展に寄与する独創的研究の援助。対象分野は 1)素材、物性に関する分野2)生体作用、安全性に関する分野3)精神、文化に関する分野で、一般研究(萌芽的研究、準備的研究も含む)	H29/5/8 ～7/10	—	200万円、又は100万円、50万円(選考委員会の裁定による)	2年以内	公益財団法人コストロジ研究振興財団 Tel:03-3206-7721 Fax:03-3206-7720

募集予定月	事業名	事業内容、応募資格、目標等	募集時期	補助率	金額	事業期間	事業実施主体・問い合わせ先
4月～7月	平成29年度 沖縄美ら島財団助成事業	亜熱帯性動物・植物、沖縄の歴史・文化及び公園機能の向上に関する調査研究・技術開発並びに普及啓発活動を対象とし、以下に示す重点テーマの内容に沿うものとします。1. 亜熱帯性動物に関する調査研究及び技術開発 2. 亜熱帯性植物に関する調査研究及び技術開発 3. 沖縄の歴史文化に関する調査研究及び技術開発 4. 公園の管理運営に関する調査研究及び技術開発 5. 自然環境保全とその適正な利用に関する普及啓発活動等	H29/4/17～7/3	—	総額：500万円程度 調査研究・技術開発：1件あたり100万円以内 普及啓発等活動：1件あたり30万円以内	1年間を原則。延長申請を含め、最長で3年間までの期間申請を認めます。	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究センター 普及開発課 TEL:0980-48-2266 FAX:0980-48-2200
4月～5月	「洋上風力発電システム実証研究(低コスト施工技術調査研究)」に係る公募について	本事業では、発電コストを構成する、資本費(CAPEX)、運営費(OPEX)を対象として、低コスト化技術の調査研究を実施し、コスト低減の評価を行います。具体的には、我が国の海底地形・地盤に適した基礎構造(タワー)、洋上での工期を短縮できる洋上施工技術や撤去工法、効率的な洋上風況・海底地盤調査技術等について、関係する企業(風力発電事業者、EPC等)が共同で検討を行います。	H29/4/18～5/18	委託	NEDO負担額：総額4億円程度	平成29年度	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 新エネルギー部 風力・海洋グループ 担当者：迎、日置、梯、田津 TEL:044-520-5276 FAX:044-520-5276
4月～5月	「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)自動走行システム/大規模実証実験」のうち「次世代都市交通」に係る公募について	今回の大規模実証実験は、5つの技術領域(ダイナミックマップ、HMI、情報セキュリティ、歩行者事故低減、次世代都市交通)を中心に、自動車メーカー等の参加のもと、公道の実交通環境下において技術検証を行っていくものです。また、今後の実用化に向けた技術面、運用面、制度面等での具体的な課題の抽出とともに、海外メーカー等にも参加を呼び掛け、国際連携・協調の推進等も図っていきます。更に、別途、自動走行システムに対する一般の方々の正確な理解促進と社会受容性の醸成等に向けたイベントの開催を予定しています。	H29/4/21～5/22	委託	事業規模(平成29年度) 260百万円	平成29年度	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 ロボット・AI部 次世代モビリティグループ 担当者：古田、平林、齋藤、林 TEL:044-520-5241 FAX:044-520-5243
4月～5月	「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)自動走行システム/大規模実証実験」のうち「HMI(Human Machine Interface)」に係る公募について	今回の大規模実証実験は、5つの技術領域(ダイナミックマップ、HMI、情報セキュリティ、歩行者事故低減、次世代都市交通)を中心に、自動車メーカー等の参加のもと、公道の実交通環境下において技術検証を行っていくものです。また、今後の実用化に向けた技術面、運用面、制度面等での具体的な課題の抽出とともに、海外メーカー等にも参加を呼び掛け、国際連携・協調の推進等も図っていきます。更に、別途、自動走行システムに対する一般の方々の正確な理解促進と社会受容性の醸成等に向けたイベントの開催を予定しています。	H29/4/21～5/22	委託	事業規模(平成29年度) 414百万円	平成29年度	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 ロボット・AI部 次世代モビリティグループ 担当者：松本、平林、齋藤、林 TEL:044-520-5241 FAX:044-520-5243
4月～5月	「地熱発電技術研究開発/地熱発電の導入拡大に資する革新的技術開発」に係る公募について	NEDOでは、平成25年度から地熱資源の利活用のための研究開発を実施してきました。こうした中、平成28年4月に策定された「エネルギー・環境イノベーション戦略」において、温室効果ガス排出量を削減するに有望な革新技術として、超臨界状態にある地熱流体を利用する地熱発電(以下、超臨界地熱発電という)が挙げられました。本事業では、超臨界地熱発電の実現可能性を調査し、当該技術に関する今後の研究開発の方向性を示すことを目的とします。これまでのNEDOの先導研究等で検討が進められてきた当該技術を構成する各要素技術、並びに、それらを組み合わせたシステム技術について、調査・検討を実施します。具体的なテーマは以下のとおりです。Ⅰ 超臨界水の状態把握、および地現象の予測シミュレーション技術 Ⅱ 超臨界地熱発電の実現に必要な材料・機器の検討 Ⅲ 超臨界地熱発電システムの経済性評価 Ⅳ 環境影響の最小化と安全性確保の検討	H29/4/26～5/25	委託	0.3～1.2億円/件程度	平成29年度	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 新エネルギー部 熱利用グループ 担当者：加藤 FAX:044-520-5276
4月～5月	「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)自動走行システム/大規模実証実験」のうち「HMI(Human Machine Interface)」に係る公募について	本事業では、我が国の将来を支える人工知能技術(AI)の発展の「場」(拠点)を大学等に構築し、AI分野の技術を支える人材を育成します。また、拠点を中心として多方面の人材の交流を図り、関連技術を含めた新たな技術シーズの発掘や技術の応用・発展に資する取組みにより、当該技術を担う人材が育つという「好循環」を事業終了後も継続的に形成することを目指します。	H29/4/27～5/29	委託	平成29年度から平成31年度までの総額 220百万円以内	平成29年度～平成31年度(3年間)	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 ロボット・AI部 担当者：金山、藤田、堀川 TEL:044-520-5241 FAX:044-520-5243 E-MAIL: ai_issou@ml.nedo.go.jp
5月	「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)/重要インフラ等におけるサイバーセキュリティの確保」(b5)IoTセキュリティ社会実装技術」に係る公募について	本研究開発では、IoT技術の活用ニーズの急速な高まりにより、実施中の要素技術主体のIoT向けセキュリティ対策技術への取組に加え、社会実装(IoT機器への組込み)技術に取り組めます。初年度は、研究開発実施機関とインフラ事業者間を結びIoT機器ベンダーとの協業体制構築として取り得る組合せとその実現に向けた課題の検討、当該領域の市場性評価、インフラ事業に社会実装するIoTシステムの評価技術、IoTセキュリティを担う人材に係る課題の調査等を実施します。次年度以降は、上記の調査・検討に基づき、開発中のIoTセキュリティ技術を社会実装する上で必要となる協業体制の実現、当該技術の普及を促すため、提供される製品・システムがセキュリティ要件を満足していることを客観的に示すための評価技術の確立と仕組みの構築及びそれらを継続的に運用していくための体制構築、また、導入・運用に必要な人材育成の方策の確保、等を目指します。	H29/5/1～5/31	委託	平成29年度における本事業の規模は、0.7億円	平成29年度～平成31年度(予定)	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 IoT推進部 担当者：小島、齋藤、藤野 E-MAIL: cybersec@ml.nedo.go.jp
5月～6月	平成29年度「ロボット活用型市場化適用技術開発プロジェクト」に係る公募について	本事業では、ものづくり分野、サービス分野(生活支援分野等を含む。)において、ロボットの初期導入コストの2割以上削減に向け、ロボットの本体価格を引き下げるべく、汎用的な作業・工程に使えるロボット(プラットフォームロボット)の開発(ハードウェア・ソフトウェアの共通化)を実施し、これらの各分野のロボット未活用領域において、ロボット導入を促進するプラットフォーム化されたロボットシステムを整備します。	平成29年/5/1～6/9	委託	①「ロボットのプラットフォーム化技術開発(ソフトウェア)」1件当たり年間450百万円以内 ④「ロボットのプラットフォーム化技術開発(ハードウェア)」1件当たり年間10百万円～150百万円程度	平成29年度～平成31年度(3年間)	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 ロボット・AI部 担当者：安川(優)、植元、木村、白石 TEL:044-520-5241 FAX:044-520-5243 E-MAIL: robo-marc@ml.nedo.go.jp
5月～6月	「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)自動走行システム/大規模実証実験」のうち「歩行者事故低減」に係る公募について	今回の大規模実証実験は、5つの技術領域(ダイナミックマップ、HMI、情報セキュリティ、歩行者事故低減、次世代都市交通)を中心に、自動車メーカー等の参加のもと、公道の実交通環境下において技術検証を行っていくものです。また、今後の実用化に向けた技術面、運用面、制度面等での具体的な課題の抽出とともに、海外メーカー等にも参加を呼び掛け、国際連携・協調の推進等も図っていきます。更に、別途、自動走行システムに対する一般の方々の正確な理解促進と社会受容性の醸成等に向けたイベントの開催を予定しています。	平成29年/5/8～6/8	委託	平成29年度 58百万円	平成29年度	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 ロボット・AI部 次世代モビリティグループ 担当者：古田、齋藤、林 TEL:044-520-5241 FAX:044-520-5243

募集予定月	事業名	事業内容、応募資格、目標等	募集時期	補助率	金額	事業期間	事業実施主体・問い合わせ先
6月～7月	平成29年度 小野医学研究助成および研究奨励助成	脂質代謝異常に伴う疾患の病態生理に関する研究	平成29年 /6/1～ 7/31	—	1)研究助成金:1テーマにつき200万円。研究助成総数は12件以内 (2)研究奨励助成金:1テーマにつき100万円。研究奨励助成総数は12件以内 研究助成 i)新規応募研究 ①細胞レベル、動物レベルの場合100万円/件 ②臨床試験の場合200万円/件 ii)継続発展研究 ①細胞レベル、動物レベルの場合200万円/件 ②臨床試験の場合500～1000万円/件 2)特別研究助成 100～500万円/件 3)環境・養蜂研究1年間	1ヶ月	公益財団法人 小野医学研究財団 事務局 TEL 06-6232-1960 FAX 06-6232-2527
5月～6月	2017年度 山田養蜂場みづばら研究助成基金	弊社は、これらの疾患を予防し、高齢者が体や心の健康を維持して若々しく活力にあふれ、自立した生活を送れる社会を実現する為、多様な作用を持つミツバチ産品や天然サプリメント素材を健康寿命の延伸に役立てる創造的な予防医学研究テーマを公募します。	H29/5/15 ～6/27	—	1)予防医学研究助成 i)新規応募研究1年間 ii)継続発展研究1～2年間 2)特別研究助成1～3年間 3)環境・養蜂研究1年間		株式会社 山田養蜂場 みづばら研究助成基金事務局
～11月	メカトロニクス技術高度化「研究助成」(2017年度事業分)	本財団の研究助成事業は、これらの機械製品の進化と深化に資するものだけでなく、質量ある対象を支え、駆動し、制御するというメカトロニクス技術(Motion & Control)の発展に貢献する、基礎的または応用的研究を対象とします。この点を理解のうえ本応募要領に対応する研究テーマを設定し、申請していただければ幸いです。	～ H29/11/6	—	1件あたり200万円を限度	2年間	公益財団法人 NSKメカトロニクス技術高度化財団 TEL:03-5496-5746 FAX:03-5496-5748 E-MAIL:nsk-fam@nsk.com
4月～9月	研究助成(基礎研究)	公益財団法人東電記念財団は、我が国の産業の発展と国民生活の向上に寄与することを目的として、電気・エネルギーに関わる試験研究への助成、およびこの分野の国際技術交流援助、また、同分野で意欲を持って研究に取り組む大学院学生への奨学金給付を行っております。このため、広く募集を行い、審査・選考して優れたものに助成いたしますので、意欲的な若手研究者の申込みをお待ちしております。	H29/4/1 ～9/29	—	500～1,000万円/件 7件程度	2年～3年	公益財団法人東電記念財団 TEL:03-3201-2659 FAX:03-3201-8630
6月	(2017年度)ATI研究助成	本財団では、2017年度のATI研究助成テーマを募集を実施いたします。研究領域: <ナノサイエンス> ナノ領域の微細な材料やデバイス、加工プロセスを学術的・融合的に研究する萌芽的研究、チャレンジングな研究、常識を覆す独創的研究、およびナノ領域の新探索手法となる革新的計測・分析・評価・加工方法等を期待します。水和構造や生体単分子計測など、バイオナノサイエンスも対象とします。	H29/6/1 ～6/30	—	総額 1,000万円(予定) 1件あたりの助成額:100万円程度	1年間	公益財団法人新世代研究所 ATI研究助成担当 TEL:03-3255-5922 E-MAIL:ati-grant@sii.co.jp
5月～7月	EIG CONCERT-Japan「効果的なエネルギー貯蔵と配分」共同研究課題提案募集	国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)では、研究者の国際的な交流を推進する「戦略的国際共同研究プログラム(SICORP)」を実施しております。本事業の一環として推進するEIG CONCERT-Japanにおいて、欧州8カ国と協力し「効果的なエネルギー貯蔵と配分(Efficient Energy Storage and Distribution)」分野に関する研究交流の支援を行うこととし、課題を募集いたします。	H29/5/2 ～7/14	委託	日本側研究者は3年間で1,800万円を上限	3年間	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST) 国際部 事業実施担当 エング 片山 TEL:03-5214-7375 FAX:03-5214-7379 E-MAIL:concert@ist.go.jp
5月	「IoT推進のための横断技術開発プロジェクト」の周辺技術・関連課題における小規模研究開発に係る公募について	世の中に存在するあらゆるモノ(商品、物体、設備)がセンサを備えると共に、それらがインターネットに接続されるIoT(Internet of Things)社会が進展し、新たなサービスやビジネスモデルを生み出しつつあります。本事業は、NEDOにて現在実施中の「IoT推進のための横断技術開発プロジェクト」において、さらなる技術シーズの発掘・育成や技術課題の解決を目的とし、我が国発で独創的な製品・サービス等を可能とする革新的な次世代IoT基盤技術の実現に関連する周辺技術や技術課題の研究開発を募集します。なお、採択予定件数は若干数を予定しています。	H29/5/15 ～5/29	委託	20百万円以下/件の若干数を採択予定	平成29年度	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 IoT推進部 担当者:大西、奥村、千田 FAX:044-520-5212 E-MAIL:iot@ml.nedo.go.jp
5月～6月	「次世代人工知能・ロボット中核技術開発/次世代人工知能技術分野」(先導研究)に係る公募について	本事業は、現在の人工知能・ロボット関連技術の延長線上に留まらない革新的な要素技術の研究開発を狙いとして、人間を超越する又は人間に匹敵する人工知能、センサ、アクチュエータ等を新たな技術シーズとして研究開発し、これまで人工知能・ロボットの導入について考えもつかなかった分野での新たな需要の創出や我が国が強みを有する分野との融合による産業競争力の強化につなげていくことを目指しています。平成29年度は、本事業の「次世代人工知能技術分野」(研究開発項目(7))において、次世代人工知能技術の社会実装が求められる領域に関する課題の解決に資する先導研究をグローバルに実施します。具体的には、良質な現場データを活用し、「人工知能に関するグローバル研究拠点整備事業」で東京都臨海副都心地区及び千葉県柏地区に整備される国立研究開発法人産業技術総合研究所の産学官連携の施設において、平成30年度以降に実施される社会実装に向けた本格的な研究開発に繋げることを想定して、先導研究をグローバルに実施します。	H29/5/19 ～6/19	委託	年間100百万円以内を目安	平成29年度～平成30年度(2年間)	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 ロボット・AI部 担当者:「次世代人工知能・ロボット中核技術開発」(先導研究)担当 堀川、藤田(裕)、金山 TEL:044-520-5241 FAX:044-520-5243 E-MAIL:ai_iissou@ml.nedo.go.jp
5月～7月	「次世代人工知能・ロボット中核技術開発/次世代人工知能技術分野」(調査研究)に係る公募について	「次世代人工知能・ロボット中核技術開発/次世代人工知能技術分野」基本計画に示されている、平成29年度研究開発項目のうち、下記の3項目について、人工知能技術の社会実装の実現可能性を評価するため、書面による審査に加えてデモンストラーションによるパフォーマンス審査(プレゼンテーション及び実技)を経て、上位から最優秀提案テーマを1件、優秀提案テーマを数件選定し、その区分に応じて委託費上限額の傾斜配分を行い、調査研究として採択します。	H29/5/22 ～7/18	委託	平成29年度から平成30年度までの総額180百万円以内	平成29年度～平成30年度(2年以内)	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 ロボット・AI部 担当者:「次世代人工知能・ロボット中核技術開発」(調査研究)担当 葛馬、藤田(裕)、金山 E-MAIL:ai_iissou@ml.nedo.go.jp

募集予定月	事業名	事業内容、応募資格、目標等	募集時期	補助率	金額	事業期間	事業実施主体・問い合わせ先
5月～6月	「IoTを活用した新産業モデル創出基盤整備事業」研究開発項目(2)IoT技術を活用した新たな産業保安システムの開発 II に係る公募について	国内の多くのプラント等で設備の高経年化や熟練作業員の減少等が進んでおり、重大事故のリスク増大が懸念されています。こうした産業保安分野に対して、IoT技術やビッグデータ解析等の新技術を活用することにより、プラント設備の信頼性を高めながら、効率的でより柔軟なメンテナンスの実現を両立することを目的として、本事業を実施します。なお、事業実施にあたっては、別途NEDOより公募する「IoTを活用した新産業モデル創出基盤整備事業」/産業保安の高度化に資するプラットフォームや規制等のあるべき姿の検討」の実施者と密に連携するものとします。	H29/5/31 ～6/30	委託	事業全体で約5億円を予定	NEDOが指定する日から平成31年2月28日まで	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 IoT推進部 担当者:工藤、遠藤、服部 E-MAIL: iotd@ml.nedo.go.jp
5月～7月	平成29年度「未踏チャレンジ2050」に係る公募について	本事業では、エネルギー・環境分野において、原則として産学連携に取り組む企業及び大学・研究機関等を対象に、2050年を見据えた温室効果ガスの排出削減を実施する革新的な技術・システムについて、解決すべき技術課題とそれを解決する研究開発の提案を募集します。	H29/5/31 ～7/18	委託	500～2000万円程度/(年・件)	最大5年。(原則3～5年とし、研究開発の途中段階でステータスチェックを実施します。)	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 イノベーション推進部 フロンティアグループ 担当者:加藤・高橋・戸田 TEL:044-520-5174 FAX:044-520-5177 E-MAIL: mitou@nedo.go.jp
6月～7月	平成29年度「国際研究開発」/コフンド事業/日本フランス研究開発協力事業 II に係る公募について	NEDOは、平成22年9月フランス公的投資銀行(Bpifrance:旧OCEO)と、日仏企業のイノベーション促進のため協力することに合意し、覚書(MOU)を締結しました。本事業では、覚書に基づき、両国の企業等の技術開発、イノベーションにおいて、戦略的重要性のある分野で日仏企業間の連携が促進されることを目指しており、今般、Bpifranceと同時期に、日仏の企業等による研究開発協力事業の公募を行います。	H29/6/1 ～7/7	大企業:1/2 中・小・ベンチャー企業:2/3 助成	NEDO負担分と事業者負担分を合わせて、平成29年度は2,500万円/件、	平成29年度～平成31年度までの間	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 国際部 コフンド担当 TEL:044-520-5190 FAX:044-520-5193 E-MAIL: international@ml.nedo.go.jp
6月～7月	第37回リバネス研究費 東宝賞	今回エンターテインメントに活用可能な全ての研究についての申請を募集します。映画・映像に限らず、漫画、小説、ゲーム、VR、AR、MR、ハプティクス、AI、ストーリー、キャラクターをはじめ、行動学、認知学、五感に関する研究など幅広い研究テーマのご応募をお待ちしております。	～ H29/7/31	—	研究費上限50万円 採択件数1件		横リバネス E-MAIL: incu-be@lne.st
6月～7月	第37回リバネス研究費 JR東日本賞	JR東日本が保有する駅、鉄道、店舗等を活用し、人々が集まる「駅」の新たな価値創出に関するあらゆる研究テーマを募集する。	～ H29/7/31	—	研究費上限50万円 採択件数若干		横リバネス E-MAIL: incu-be@lne.st
6月～7月	第37回リバネス研究費 日本研究.com賞	研究課題・研究者データベースを活用したあらゆる研究	～ H29/7/31	—	研究費上限50万円 採択件数若干		横リバネス E-MAIL: incu-be@lne.st
6月～7月	第37回リバネス研究費 吉野家賞	「自然と立ち寄りたくなる」「また来たいと思う」とはなにか? 行動変容に関わる研究を広く募集します。	～ H29/7/31	—	研究費上限50万円 採択件数若干		横リバネス E-MAIL: incu-be@lne.st
6月	第37回リバネス研究費 L-RAD賞	自然科学、社会科学、人文科学の研究、開発、調査全般	～ H29/6/30	—	研究費上限50万円 採択件数若干		横リバネス E-MAIL: incu-be@lne.st
6月～8月	平成30年度グリセリン新規用途開発研究助成	次の3研究を対象とした国内での研究 1.グリセリンの新規用途開発研究(新規化学物質、新規応用研究) 2.グリセリンを出発原料とした有用化学製品の開発研究 3.その他需要拡大につながる研究	H29/6/1 ～8/31	—	助成金額は1件50万円、2件を上限		日本石鹼洗剤工業会 事務局(担当:長野) TEL:03-3271-4301 FAX:03-3281-1870
6月～7月	平成29年度「未来社会創造事業」(探索加速型・大規模プロジェクト型)の研究開発提案募集	本事業では、社会・産業ニーズ(潜在的なニーズを含む)を踏まえ、経済・社会的にインパクトのあるターゲット(出口)を明確に見据えた技術的にチャレンジングな目標を設定し、戦略的創造研究 推進事業や科学研究費助成事業等の有望な成果の活用を通じて、実用化が可能かどうか見極められる段階(概念実証:POC)を目指した研究開発を実施します。その研究開発において、斬新なアイデアの取り込み、事業化へのジャンプアップ等を柔軟かつ迅速に実施可能とするような研究開発運営を採用します。本事業は異なる2つのアプローチで構成されます。探索加速型と大規模プロジェクト型です。	H29/6/7 ～7/19	委託	探索研究課題の1課題あたりの予算規模は原則として総額6,000万円程度 大規模プロジェクト型1課題あたりの予算規模は、総額14億円～20億円	探索研究課題の研究期間は最長で3年程度 大規模プロジェクト型最長平成29年10月から平成39年3月までの約9年半	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST) 研究開発改革推進部 Tel:03-6272-4004 FAX:03-6268-9412 E-mail: kaikaku.mirai@jst.go.jp
7月～8月	平成30年度研究助成金	我が国の化学分野における研究開発に対し助成を行うことにより、化学技術の振興を図り、社会経済の発展に寄与することを目的として、助成金事業を行っています。下記分野の「基礎および応用研究」に助成します。(1)有機化学(2)マテリアルサイエンス(3)ライフサイエンス	H29/7/1 ～8/31	—	助成金額は1件100万円とし、全5件を限度	原則1年	公益財団法人東京化成化学振興財団 事務局 TEL:03-6861-7277
7月	2017年度 調査研究助成(公募型)リサーチペーパー募集	医療機器産業界の振興・発展に寄与する経済学、経営学、法学、レギュラトリーサイエンス、歴史学、政治学等の幅広い社会科学系研究テーマを幅広く募集します。調査や分析、実証研究、ケーススタディ等を元に一般化した議論をするような研究を想定しています。既成の概念にとられない、新しい発想に基づくテーマについても歓迎します。	H29/7/3 ～7/31	—	50万円	3か月～1年間	公益財団法人医療機器センター 附属医療機器産業研究所 TEL:03-3813-8553 FAX:03-3813-8733 Email: mdsi@jaame.or.jp
6月～7月	「IoTを活用した新産業モデル創出基盤整備事業」研究開発項目(3)IoT技術を活用した新たな産業横断的な生産システムの開発 II に係る公募について	我が国では、製造現場の機器から得られるデータを経営層の基幹システムに直接活用できていないのが現状ですが、この課題を克服することにより、製造業の生産性の向上やビジネスモデルの革新が期待できます。これを実現するには、工場の生産設備の稼働状況や製品の設計・品質情報等のデータを工場間、企業間で共有・活用するための業界横断的な標準仕様を確立することが必要です。経済産業省が平成28年度に実施した「IoT推進のための社会システム推進事業(スマート工場実証事業)」で策定したデータプロファイル及びセキュリティ対応マニュアルについて、実際の工程へ適用した上での有効性検証を行います。なお、事業実施にあたっては、別途NEDOより公募する「IoTを活用した新産業モデル創出基盤整備事業」/製造分野におけるIoTの社会実装推進に向けた検討」の実施者と密に連携するものとします。	H29/6/8 ～7/7	委託	平成29年度の予算規模は約18,000万円	平成30年3月16日まで	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 IoT推進部 担当者:工藤、小泉、山川 E-MAIL: iotd@ml.nedo.go.jp

募集予定月	事業名	事業内容、応募資格、目標等	募集時期	補助率	金額	事業期間	事業実施主体・問い合わせ先
6月～7月	「植物等の生物を用いた高機能生産技術の開発」に係る追加公募について	近年、バイオテクノロジーの発展に伴い、植物や微生物等の生物を用いた物質生産技術が注目されており、全世界で関連市場が急速に拡大していくと予想されています。本事業は、NEDOにて平成28年度より実施中である「植物等の生物を用いた高機能生産技術の開発」の研究開発項目(3)「高生産性微生物創製に資する情報解析システムの開発」において、汎用的な情報解析システム基盤強化と早期実用化を目的として、以下の技術項目に該当する内容を募集します。(ア) 遺伝子配列設計システム(情報解析技術)の開発のうち、文献情報等の公開データからの知識整理を補完するためのデータ処理・AI基盤技術(イ) 物質生産のための革新的なハイスループット合成・分析・評価技術(ウ) 情報解析システムの有効性検証を加速する技術、物質生産の実用化を加速する技術	H29/6/16～7/18	委託	(ア)60百万円程度/年、(イ)30百万円程度/年、(ウ)10百万円程度/年	(ア)平成29年度から平成32年度までの最長4年間、(イ)及び(ウ)平成29年度から平成30年度までの最長2年間	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 材料・ナノテクノロジー部 担当者:林、齋藤、河辺、大竹、尾上 TEL:044-520-5220 FAX:044-520-5223
6月～8月	平成29年度「国際研究開発/コフアンド事業/日本ドット研究開発協力事業」に係る公募について	NEDOは、平成29年3月に、経済産業省とともにドイツ連邦経済エネルギー省(BMWi)と、日独両国の共同研究開発プロジェクトが、両国の産業競争力強化および国際化促進にとって重要であるとの認識のもと、両国が「コフアンド形式」にて、企業間の国際研究開発を支援していくことに合意し、共同声明に調印しました。NEDOは、本共同声明に基づき、「インダストリー4.0」や「IoT(Internet of Things)」の概念を打ち出して世界をリードしているドイツと、日独の企業等による「国際研究開発/コフアンド事業」の公募を行います。【対象技術分野】新エネルギー、省エネルギー、スマートコミュニティ、環境、ロボット、機械システム、電子・情報(AI・IoT含む)、材料・ナノテクノロジー等【対象国・地域】ドイツ	H29/6/19～8/17	大企業:1/2助成、中小・ベンチャー企業:2/3助成	NEDO負担分と事業者負担分を合わせて、平成29年度は2,500万円/件、平成30・31年度は単年度あたり5,000万円以内/件(最長3年度)を上限	平成29年度～平成31年度	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 国際部 コフアンド担当 TEL:044-520-5190 FAX:044-520-5193 E-MAIL:international@ml.nedo.go.jp
6月～7月	平成29年度「IoT社会の実現に向けたIoT推進部実施事業の周辺技術・関連課題における小規模研究開発」	本公募では、IoT推進ラボ及び経済産業省が募集する第4回IoT Lab Selection(官民合同支援)と連携し、「IoT推進のための横断技術開発プロジェクト」の重点項目「データ収集・蓄積・解析・セキュリティ等の横断的な次世代の基盤技術、あるいは、それらを統合するシステム化技術等の研究開発」に関連する、IoT社会の実現に向けた課題や周辺技術に係る研究開発の実施者を募集します。今回の公募では特に、「ものづくり」に関して設定された課題を解決・実現するプロジェクトを募集します。	H29/6/30～7/31	委託	1件当たりの2,000万円以内(年度当たりの予算目安:1,000万円)	NEDOが指定する日から1年以内	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 IoT推進部 担当者:大宮、山川、工藤 E-MAIL:iot_lab@ml.nedo.go.jp
7月～8月	「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)自動走行システム/大規模実証実験」のうち「情報セキュリティ実証実験」に係る公募について	自動走行におけるセキュリティ脅威の調査及び分析を行い、国際標準化も見据えて車両レベル・コンポーネントレベルでのセキュリティ評価手法・プロトコルを策定し、本実証実験を通して募る参加者の車両を用いてハッキング性能検証のためのブラックボックステストを行うことで、以下を実現します。a. 車両への通信を用いた攻撃に対する評価手法の確立、b. V2X等車外からの攻撃を含む脅威の全体像の整理、c. 自動走行車両セキュリティに関するコンセンサスの醸成、d. 我が国における自動走行車両セキュリティに関わる人材育成及びノウハウ蓄積	H29/7/10～8/10	委託	原則、8,000万円以内(件・期間)、採択数は3件を予定	平成29年度～平成30年度	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 ロボット・AI部 次世代モビリティグループ 担当者:藤田、齋藤、水ノ江、林 TEL:044-520-5241 FAX:044-520-5243
7月～9月	旭硝子財団2017年度募集研究助成	国内の大学とその附属研究所、大学共同利用機関、高等専門学校に勤務し、主体的に研究を進めている常勤の研究者。任期付研究者の場合には、当財団の定めたガイドラインがあります。研究奨励の募集は下記分野ごとに行います。環境フィールド研究は、自然と人の良好な関係の構築に資する。フィールド調査を中心とする、個人またはチーム研究を助成します ・自然科学系 第1分野:化学・生命科学 ・自然科学系 第2分野:物理・情報 ・自然科学系 第3分野:建築・都市工学 ・人文・社会科学系:持続可能な社会の実現に向けた人文・社会科学的研究 環境フィールド研究は、自然と人の良好な関係の構築に資する。フィールド調査を中心とする、個人またはチーム研究を助成します	H29/7/31～9/8研究奨励自然科学系 H29/7/31～9/22研究奨励人文・社会科学系、環境フィールド研究近藤記念グラント	—	研究奨励第1・第2分野の場合には200万円、第3分野の場合には実証研究は200万円、調査研究は150万円(第1～第3分野の合計として、約60件) 人文・社会科学系上限は100万円(約5件) 環境フィールド研究400万円以内(約6件)	研究奨励2018年4月から1年間または2年間 環境フィールド研究2018年4月から原則として2～4年間	公益財団法人旭硝子財団 東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザ2F TEL:03-5275-0620 FAX:03-5275-0871 E-mail:post@af-info.or.jp
8月～9月	平成29年度 島津科学技術振興財団研究開発助成	島津科学技術振興財団では、わが国の科学技術振興のため、将来の発展を期待される優秀な研究に対し、研究費の助成を行っています。科学技術、主として科学計測に係る領域で、基礎的研究を対象とします。	～H29/9/3	—	助成金総額:2,000万円(1件につき100万円以下)		公益財団法人島津科学技術振興財団事務局 京都市中京区西ノ京徳大寺町1番地 TEL:(075)823-3240 FAX:(075)823-3241 E-mail:ssf@zaidan.shimadzu.co.jp
7月～8月	「IoTを活用した新産業モデル創出基盤整備事業」研究開発項目(4)次世代航空機運航支援システムの開発	世界の航空需要が今後年率5%での拡大が予想される中、パイロット需要は新興国を中心に2030年までに現状の2倍に増大し、約1万人近いパイロットの不足が予想され、特に熟練パイロットの不足が懸念されています。そのため本事業では、高度で安全な航空システムの実現を目指し、運航データ等やAI・IoT技術を活用し、現在、パイロットが手動で対応している悪天候時の飛行計画の変更等について、各種データ(運航データ、気象データ、環境データ、熟練パイロットのノウハウ等)を活用してパイロットの判断・操縦を支援するシステムの開発や当該支援システムを実現するためのデータ流通のプラットフォームの検討を行います。	H29/7/26～8/24	委託	平成29年度の予算規模は、事業全体で約1.3億円	NEDOが指定する日から平成31年2月28日まで	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 IoT推進部 担当者:工藤、大宮、遠藤 E-MAIL:iotd@ml.nedo.go.jp
8月～9月	「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)自動走行システム/大規模実証実験」のうち「ダイナミックマップ車両プロファイル情報の活用」に係る公募について	将来、自動運転社会を実現するために、プローブ情報と呼ばれる車両や公共交通機関等から得られる時間とともに変化する情報に含まれるコンテンツを共有するための検討が進んでおり、活用が大きく期待されています。本実証実験は以下を目的として実施します。・プローブ情報共有に必要となるデータセットフォーマットやAPIなどの検証と評価・プローブ情報に基づく準静的・準動的な情報の活用・検討	H29/8/15～9/15	委託	事業規模(平成29年度)40百万円	平成29年度～平成30年度	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 ロボット・AI部 次世代モビリティグループ 担当者:坂本、齋藤、水ノ江、林 TEL:044-520-5241 FAX:044-520-5243